

富山高等専門学校		開講年度	令和06年度 (2024年度)		授業科目	英語表現Ⅱ	
科目基礎情報							
科目番号	0037			科目区分	一般 / 選択		
授業形態	授業			単位の種別と単位数	履修単位: 2		
開設学科	商船学科			対象学年	2		
開設期	通年			週時間数	2		
教科書/教材	教員の用意した教材 『英文法基礎10題ドリル』（駿台文庫） 『総合英語One』（アルク）						
担当教員	山村 啓人						
到達目標							
・英検準2級レベルの、基礎的な英文の構造と意味を理解することができる。また、その理解を基盤として英語で基礎的な自己表現をすることができる。 ・英語らしい発音やイントネーションを意識して英語を発することができる。							
ルーブリック							
	理想的な到達レベルの目安			標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安	
読むこと	英検準2級レベルの語彙や文構造を用いた英文を聞いたり読んだりして、その内容を正確に理解することができる。			英検準2級レベルの語彙や文構造を用いた英文を聞いたり読んだりして、その内容をだいたい理解することができる。		英検準2級レベルの語彙や文構造を用いた英文を聞いたり読んだりして、その内容をほとんど理解することができない。	
話すこと	英検準2級レベルの言語材料を用いて、自分の考えや身のまわりのことについて、十分に相手に伝わるように話す（発表・やりとり）ことができる。			英検準2級レベルの言語材料を用いて、自分の考えや身のまわりのことについて、だいたい相手に伝わるように話す（発表・やりとり）ことができる。		英検準2級レベルの言語材料を用いて、自分の考えや身のまわりのことについて、あまり話す（発表・やりとり）ことができない。	
書くこと	英検準2級レベルの言語材料を用いて、自分の考えや身のまわりのことについて、十分に相手に伝わるように書くことができる。			英検準2級レベルの言語材料を用いて、自分の考えや身のまわりのことについて、だいたい相手に伝わるように書くことができる。		英検準2級レベルの言語材料を用いて、自分の考えや身のまわりのことについて、ほとんど書くことができない。	
学科の到達目標項目との関係							
MCCコア科目							
教育方法等							
概要	この授業では、英語の仕組みの基礎を学ぶ。英語の基礎とは、品詞とその働きのことであるといつてよい。単語の意味やフレーズを丸暗記する学習ではなく、辞書を活用して単語の品詞を意識し、単語同士がどのように関わり合って英文を構成しているのか、その「仕組み」を根本的に理解することが目標である。英語を構成するメカニズムを理解しないと、応用力がつかず、英文の難易度が上がってくると必ず行き詰まるからである。 また、学習の際には当然英語を口に出すことになるが、英語らしい発声と発音ができるよう、音声の仕組みも学び、たくさん練習をする予定である。						
授業の進め方・方法	・教員による講義を中心として学生同士の学び合いも多く取り入れる。また授業中は英語も多く使用するので、リスニング力向上にもつながるはずである。 ・学生はテキストの指定された箇所を十分に予習してくる。予習とは、英文を読み（問題を解き）、分からない単語や表現を辞書で丁寧に調べ、問題点を明らかにしておくことである。それによって、授業の理解度、学びの質が各段に上がり、記憶への定着度も高くなる。必ず家庭で予習の時間を確保すること。 ・定期試験評価のうち、中間試験は筆記試験（60％）、期末試験は対面によるパフォーマンステスト（40％）を実施する。						
注意点	・授業には必ず英和辞典を持参すること。 ・私語やスマホに注意し、自立した態度で授業に臨むこと。 ・評価が50点に満たないものは、願い出により追認試験を受けることができる。追認試験の結果、単位の修得が認められたものは、その評価を50点とする。						
授業の属性・履修上の区分							
☒ アクティブラーニング		☒ ICT 利用		☒ 遠隔授業対応		☐ 実務経験のある教員による授業	
授業計画							
		週	授業内容		週ごとの到達目標		
前期	1stQ	1週	オリエンテーション		授業の概要や目的について理解する 教員の自己紹介、英語を使ったウォームアップ		
		2週	第12講 不定詞（名詞的用法）		不定詞（名詞的用法）について理解し、整序問題を通して知識を運用することができる。		
		3週	第13講 不定詞（形容詞的用法）		不定詞（形容詞的用法）について理解し、整序問題を通して知識を運用することができる。		
		4週	第14講 不定詞（副詞的用法）		不定詞（副詞的用法）について理解し、整序問題を通して知識を運用することができる。		
		5週	第15講 不定詞（意味上の主語等）		不定詞（意味上の主語等）について理解し、整序問題を通して知識を運用することができる。		
		6週	第16講 動名詞		動名詞について理解し、整序問題を通して知識を運用することができる。		
		7週	第17講 分詞の形容詞的用法		分詞の形容詞的用法について理解し、整序問題を通して知識を運用することができる。		
		8週	中間試験		これまでの内容について理解度を確認する。		
	2ndQ	9週	第18講 分詞構文①		分詞構文について理解し、整序問題を通して知識を運用することができる。		
		10週	第19講 分詞構文②		分詞構文について理解し、整序問題を通して知識を運用することができる。		
		11週	章末問題		これまでの復習をすることができる。		

後期		12週	第20講 名詞節①	名詞節について理解し、整序問題を通して知識を運用することができる。
		13週	第21講 名詞節②	名詞節について理解し、整序問題を通して知識を運用することができる。
		14週	第22講 名詞節③	名詞節について理解し、整序問題を通して知識を運用することができる。
		15週	期末試験	これまでの内容について理解度を確認する。
		16週	答案の返却	成績評価・確認
	3rdQ	1週	第23講 関係詞節①	関係詞節について理解し、整序問題を通して知識を運用することができる。
		2週	第24講 関係詞節②	関係詞節について理解し、整序問題を通して知識を運用することができる。
		3週	第25講 関係詞節③	関係詞節について理解し、整序問題を通して知識を運用することができる。
		4週	第26講 関係詞節④	関係詞節について理解し、整序問題を通して知識を運用することができる。
		5週	第27講 関係詞節⑤	関係詞節について理解し、整序問題を通して知識を運用することができる。
		6週	第28講 副詞節	動名詞について理解し、整序問題を通して知識を運用することができる。
		7週	章末問題	これまでの復習をすることができる。
		8週	中間試験	これまでの内容について理解度を確認する。
	4thQ	9週	第29講 比較①	比較について理解し、整序問題を通して知識を運用することができる。
		10週	第30講 比較②	比較について理解し、整序問題を通して知識を運用することができる。
		11週	第31講 比較③	比較について理解し、整序問題を通して知識を運用することができる。
		12週	第32講 時制 第33講 完了形	時制と完了形について理解し、整序問題を通して知識を運用することができる。
		13週	第34講 助動詞	助動詞について理解し、整序問題を通して知識を運用することができる。
		14週	第35講 仮定法 第36講 強調・倒置	仮定法と強調・倒置について理解し、整序問題を通して知識を運用することができる。
		15週	学年末試験	これまでの内容について理解度を確認する。
		16週	答案の返却	成績評価・確認

モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標

分類		分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週
基礎的能力	人文・社会科学	英語	英語運用の基礎となる知識	聞き手に伝わるよう、句・文における基本的なリズムやイントネーション、音のつながりに配慮して、音読あるいは発話できる。	3	
				明瞭で聞き手に伝わるような発話ができるよう、英語の発音・アクセントの規則を習得して適切に運用できる。	3	
				中学で既習の語彙の定着を図り、高等学校学習指導要領に準じた新出語彙、及び専門教育に必要な英語専門用語を習得して適切な運用ができる。	3	
				中学で既習の文法や文構造に加え、高等学校学習指導要領に準じた文法や文構造を習得して適切に運用できる。	3	
			英語運用能力の基礎固め	日常生活や身近な話題に関して、毎分100語程度の速度ではっきりとした発音で話された内容から必要な情報を聞きとることができる。	3	
				日常生活や身近な話題に関して、自分の意見や感想を基本的な表現を用いて英語で話すことができる。	3	
				平易な英語で書かれた文章を読み、その概要を把握し必要な情報を読み取ることができる。	3	
				日常生活や身近な話題に関して、自分の意見や感想を整理し、100語程度のまとまりのある文章を英語で書くことができる。	3	

評価割合

	試験	小テスト（語彙、作文他）	提出物	発表	相互評価	その他	合計
--	----	--------------	-----	----	------	-----	----